

所属・氏名(総合リハビリテーション 学部 リハビリテーション 学科 氏名:河村あゆみ)

著者、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概要
1 (学術論文) 読み聞かせを支える絵 本のことばの質の検討 《筆頭論文》	共著	2022年3月	福岡教育大学特別 支援教育センター 研究紀要第14号 (印刷中)	絵本の読み聞かせ活動は、特別支援 学校においても積極的に行われて おり、教育的効果が報告されてい る。その活動の質を確保するため には、蔵書数の量と共に絵本の質の 確保が重要である。質の良い絵本 とは何かについて、言語的側面の なかでもオノマトペに焦点を当て て検討を行った。(河村あゆみ、 馬場美友)
2 (国内学会発表) 見本合わせ法による読 み学習支援教材の子 どもの特性に応じた変法	共著	2019年11月	一般社団法人日本 LD学会第28回大会 (東京)	読み学習に困難のある子どもを 対象とした見本合わせ(matching- to-sample)法による教材を、視 空間的短期記憶に相対的な弱さ があり言語的短期記憶に強さ のある子どもが学習しやすい 実施の順序や手続きとした 変法を作成した。(河村 暁・河村あゆみ・中山健)
3 (国内学会発表) 言語的短期記憶に重 い困難のある子ども への英語の読み学習 支援の試みーあいう えおフォニックスを 活用してー	共著	2017年10月	一般社団法人日本 LD学会第26回大会 (新潟)	言語的短期記憶に重い困難 のある子どもに対して、 母音と子音を分離する 教材をはじめ、音声 を既知知識に基づいて 音韻化したり、ブレン ディングしたりする 教材について検討 した。(河村暁、 河村あゆみ、 中山健)
4 (国内学会発表) 聴覚障害幼児に 対するわらべうた あそびの実践 《筆頭論文》	単著	2013年7月	日本コミュニ ケーション障 害学会学術 講演会予稿 集(39):116, 2013.	乳幼児期に形成されることば・ コミュニケーションの土台 となる子どもと養育者との 相互的なやりとりを促進 する方法の1つであるわら べうた遊びを聴覚障害幼 児と保護者と実践した 報告した。(河村あ ゆみ)